

ガーナ共和国 概況
(Republic of Ghana)

ジェトロ海外調査部(2018年8月14日作成)

一般的事項		二国間関係						
面積:23万8,537平方キロ(日本の約3分の2) 人口:2,883万人(2017年) 出所:IMF 首都:アクラ 民族:アカン、ガ、エベ、ダゴンバ、マンプリシ他 言語:英語(公用語)、各民族語 宗教:国民の7割がキリスト教徒、イスラム教約17%、他伝統的宗教	(3)2008年12月、国家民主会議(NDC)のミルスが大統領に選出されたが、12年7月逝去。憲法規定に従い、マハマ副大統領が大統領に就任。同年12月の大統領選挙でマハマ大統領が当選。 (4)2016年12月に大統領選挙で、新愛国党(NPP)のアクフォ＝アド(元外相)が当選。国会議員選挙もNPPが過半数の議席を獲得し、大統領選、議会選ともに8年ぶりに与野党が逆転した。	日本の貿易額: 輸出 輸入 出所:財務省貿易統計 2015年 127.6億円 147.1億円 2016年 135.5億円 200.7億円 2017年 147.1億円 215.5億円 対ガーナ貿易の主要品目: 輸出:自動車、魚介類、ゴム製品 輸入:カカオ豆、鉛鉱、魚介類(マグロ等)						
基礎的経済指標		経済動向						
主要産業:農業(カカオ豆)、鉱業(貴金属、非鉄金属、石油) GDP(名目):470.3億ドル(2017年) 出所:IMF 1人当たりGDP(名目):1,663ドル(2017年) 出所:IMF 経済成長率(実質):8.4%(2017年) 出所:IMF インフレ率:12.4%(2017年) 出所:IMF 貿易(国際収支ベース):(2017年) 出所:IMF 輸出138.4億ドル/輸入126.5億ドル 主要貿易品目: 輸出:金、石油、カカオ豆・製品、木材 輸入:機械類、石油、食料品 主要貿易相手国:(2016年) 出所:世銀 輸出:スイス、インド、UAE、中国、ベトナム 輸入:中国、英国、米国、ベルギー、インド 通貨:ガーナセディ 為替レート:1ドル=4.35ガーナセディ(2017年期平均) 出所:IMF	(1)農業・鉱業等に依存する典型的な一次産品依存型経済で、主要輸出品も金、石油、カカオ豆が上位を占め、国際市況と天候の影響を受けやすい。主要産業の農業は国内総生産(GDP)の約20%、雇用の約半数を占める。 (2)1990年代の金やカカオの国際価格の低迷や原油の輸入価格高騰等により、経済が悪化。2001年誕生のクフォー政権は同年3月、拡大重債務貧困国(HIPC)イニシアティブ適用による債務救済を申請し、緊縮財政を基本とする経済改革を行った。 (3)ミルス政権下(2009～12年)では、インフレ率の低下や為替レートの安定などマクロ経済指標の改善をみた。 (4)マハマ前政権は過去の政権から引き継いだ多額の債務の削減、インフラ整備、経済的な地域格差の是正等に加え、急激なセディ安や高インフレ等の問題に直面。2015年4月、IMFが9億ドル以上の支援プログラムを決定、緊縮財政に取り組んでいたが、選挙による支出拡大により財政悪化を招いた。アクフォ＝アド新政権にとって財政健全化は喫緊の課題となっている。 (5)2010年12月に開始された石油の商業生産で、実質GDP成長率は2011年に15%を記録。しかし、原油価格の下落に伴い、14年、15年は4%に鈍化。ただし、石油生産に伴う随伴ガスの開発も進んでおり、多くの国々から投資先として注目を集める。	日本の援助:(2016年まで) 円借款(E/Nベース)1,363.30億円/無償資金協力(同)1,145.82億円/技術協力(JICA経費実績)574.47億円 政治関係: 1957年3月 ガーナ独立と同時に承認 1959年3月 在ガーナ日本大使館開設 1960年5月 在日ガーナ共和国大使館開設 要人往来:(往) 2014年7月 東郷哲也衆議院議員(日AU議連) 2016年5月 河井克行内閣総理大臣補佐官 2017年1月 坂井学総理特使(日・ガーナ友好議連会長、大統領就任式典出席) 2017年5月 日・ガーナ官民インフラ会議(末松信介国土交通副大臣) 2018年5月 藪浦健太郎内閣総理大臣補佐官 (来) 2014年11月 アジエマン教育相(持続可能な開発のための教育に関するユネスコ世界会議) 2015年3月 アミッサ・アサー副大統領(第3回国連防災世界会議) 2016年5月 マハマ大統領 2017年7月 アジマン＝メヌ保険相(アクフォ＝アド大統領特使) 2018年2～3月 アジヤコ エネルギー相 2018年3月 アチャンボン ガーナ日友好議員連盟会長 2018年4月 オファリ＝アタ財務相						
政治体制		ガーナの主要経済指標						
政体:共和制 元首(大統領):ナナ・アド・タンクワ・アクフォ＝アド(2017年1月就任、任期4年) 議会:一院制(定数275、任期4年) 政府(主要閣僚):(2018年8月現在) 出所:ガーナ政府サイト 財務相 Seth Terkper、貿易・産業相 Ekwow Spio-Garbrah、国土・資源相 Nii Osah Mills、エネルギー・石油相 Emmanuel Armah Kofi Buah、食品・農業相 Fifi Fiavi Franklin Kwetey、外務・地域統合相 Hannah Tetteh								
政治動向		外交・国防						
(1)1957年3月、英国から独立。1960年7月、共和制に移行し、エンクルマが初代大統領に就任。その後、1981年ローリングス政権発足までに4回のクーデターを含め、頻繁に政権交代が繰り返された。1990年代に入り民主化が進み、1992年、96年に複数政党制の下で大統領選挙が行われ、ローリングス大統領の指導の下で長期の政治的安定をみる。 (2)ローリングス大統領は憲法の三選禁止規定を遵守し、2000年12月の大統領選挙に出馬せず。親愛国党(NPP)のクフォー候補が選出され、2001年1月大統領に就任。同国歴史上初の選挙による与野党間の政権交代が実現。								非同盟中立を基調に、近隣諸国との関係を重視する一方、日本を始め、英、米、仏等先進国との関係を強化。特にアフリカ連合(AU)、西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)の主要メンバー(2014年ECOWAS議長国、2007年AU議長国)として、アフリカ地域全体の平和と安定に積極的に貢献。 【参考資料】 外務省 国・地域基礎データ(2018年6月5日付) 外務省 海外在留邦人数調査統計(2018年要約版) 法務省 在留外国人統計(2017年12月末) 財務省 貿易統計 IMF International Financial Statistics(IFSオンライン)(2018年7月6日付) IMF World Economic Outlook Database(WEO)(2018年4月)
		単位	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	
*実質GDP成長率	%		7.3	4.0	3.8	3.7	8.4	
*名目GDP	億ドル		478.1	387.7	368.9	427.9	470.3	
*1人当たりGDP(名目)	ドル		1,870	1,479	1,372	1,552	1,663	
消費者物価上昇率	%		11.7	15.5	17.2	17.5	12.4	
経常収支	億ドル		△ 57.04	△ 36.95	△ 28.24	△ 28.32	△ 20.03	
金融収支	億ドル		△ 50.04	△ 37.53	△ 26.49	△ 22.84	△ 27.74	
外国直接投資受入額	億ドル		32.27	33.63	31.92	34.85	32.55	
外債準備高(金除く)	億ドル		52.49	52.25	54.45	55.45	66.51	
為替レート(期中平均)	セディ/ドル		1.95	2.90	3.67	3.91	4.35	
貿易収支	億ドル		△ 38.48	△ 13.83	△ 31.44	△ 17.73	△ 11.87	
輸出額	億ドル		137.52	132.17	103.21	111.37	138.35	
輸入額	億ドル		176.00	146.00	134.65	129.10	126.48	
出所:IFS *WEO								